

市の木



ツゲ

市の花



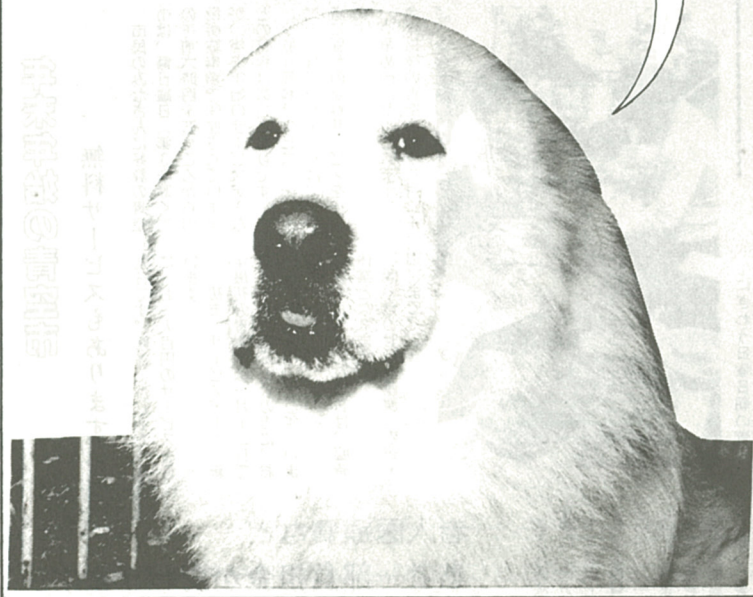
サツキ

広報 えびな

編集・発行
海老名市役所広報広聴課
〒243-04
神奈川県海老名市勝瀬175
☎ (0462) 31・2111

犬だってつらいよ!

僕、ジロー。犬族を代表してひと言。最近僕らの評判が悪くて悲しいな。でも、僕らだって1日中つながれっ放しだと泣きたくもなるし、フンの後始末は砂をかけることぐらいしかできないんだ。ご主人たちが、もう少し僕たちの面倒をみてくれるとうれしいんだけど…。



犬の鳴き声は近所迷惑。犬のストレスを解消させるのも飼い主の当然の義務です

犬の鳴き声やフン、大害の張本人は?

「久しぶりの晴天。さわやかな気分が散歩に出掛けたら、家の周りの道路や近くの公園は大のフンでいっぱい。踏まないよ、う下を見て歩いてるうちに散歩をする気分も失せました」
「夜、近所も犬が何時でもほえ続けるので、夕食時の一家だんらんも台無し。このままではノイローゼになりそうです」
「放し飼いされている犬が家の周りをうろついているので、子供が怖がって外へ出られませ

ん」
犬は古来から人間の「良き友、良き相棒」であったはず
「久しぶりの晴天。さわやかな気分が散歩に出掛けたら、家の周りの道路や近くの公園は大のフンでいっぱい。踏まないよ、う下を見て歩いてるうちに散歩をする気分も失せました」
「夜、近所も犬が何時でもほえ続けるので、夕食時の一家だんらんも台無し。このままではノイローゼになりそうです」
「放し飼いされている犬が家の周りをうろついているので、子供が怖がって外へ出られませ

犬は古来から人間の「良き友、良き相棒」であったはず
「久しぶりの晴天。さわやかな気分が散歩に出掛けたら、家の周りの道路や近くの公園は大のフンでいっぱい。踏まないよ、う下を見て歩いてるうちに散歩をする気分も失せました」
「夜、近所も犬が何時でもほえ続けるので、夕食時の一家だんらんも台無し。このままではノイローゼになりそうです」
「放し飼いされている犬が家の周りをうろついているので、子供が怖がって外へ出られませ



◀ 毎日の散歩は格別の気分転換に…

「犬は舌手」という人も世の中には大勢いますので、散歩のときは必ず引き綱をつけてください。フンの後始末のためのシャベルやビニール袋も「散歩必需品」です。

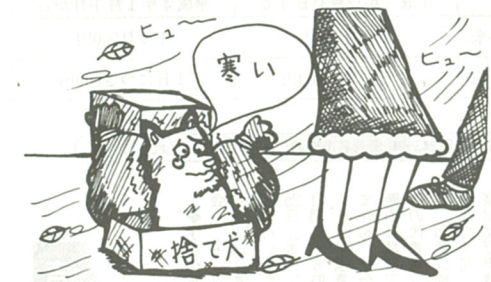
飼育に不可欠

最後まで愛情と責任を

犬を飼うことで家庭内の雰囲気や和んだり、子供の情操教育に役立つことから、飼い主の多くが「我が家の犬は家族同様に考えている」と言っています。家族の一員なら、なおさら周囲に迷惑をかける飼育に気を配りたいもの。犬の習性をよく理解して、最後まで愛情と責任をもって世話をしてください。

【飼い主の常識です】

- ◎犬を散歩させるときはシャベルと袋を必ず持ち歩き、フンの後始末をきちんとしてください。美観を損なうだけでなく、悪臭を放ち周りの人が大変迷惑します。
- ◎犬は運動不足になるとストレスがたまり、長時間ほえ続けたり人にかみついたりする原因になります。散歩をさせるなどして犬にストレスがたまらないようにしてください。
- ◎放し飼いは条例で昼も夜も禁止されているばかりでなく、人をかんで思わぬ事故になる場合がありますので、絶対にしないでください。



「飽きたから捨てる」では飼い主失格。犬も人間と同じように感情を持った生き物です

◎生後三カ月以上の犬は、厚木保健所母老名支所(☎32・7911)で登録をお忘れなく。

フォトピックス

白鳥の飛来地として知られている山形県酒田市の「白鳥を愛する会」(島中源治郎会長、約2万人)などの等外品約三・五斗を届け



中央公園内の電飾された「七重の塔」

実施期間は来月三十一日までで、毎日午後五時から十時まで点灯される。

陸上競技場落成記念で

サッカーの公式戦も

海老名運動公園内に建設された陸上競技場、冒險広場、多目的広場の完成を祝う落成記念式典が、十一月二十三日に行われた。陸上競技場入口前で、開場宣言、テープカットのあと左藤原市長ら三人による記念植樹が行われた。引き続き特設テントで記念式典が開かれ、約三百人が出席した。

白鳥のえさを送る

中部営業組合が酒田市へ
十二月一日、市中部営業組合(関宮一夫組合長、56戸)が



白鳥のえさを積み込む組合員

そばの定期便

市そば商組合が中心に「そばを食べる健康で長生きを」と、今年も市そば商組合(坂西正栄組合長、24店舗)が十一月二十一日、老人ホーム中心に(浦野正水施設長)を訪問し、お年寄りにそばの無料サービスを行った。(このサービスは出陣サービス)は四年前から毎年行っているもので、そばの定期便として、お年寄りにたすき



出来上がった「そば」を食べるお年寄り

が、お年寄りの健康を考え、味は薄味で、食べやすいように天ぷらを細かく切ったなどの配慮も、食事中は顔なじみになっただお年寄りと楽しく話し合う光景もみられた。

幻想的な世界を演出

イルミネーション実施中
十二月一日から海老名駅東口前の「海老名中央公園」でウィンドアップイルミネーションが点灯され、道行く人々の目を魅了させている。



熱気に満ちた「東芝対全日空」の試合

合が行われた。

海老名市観光協会が結成した「えびなウィンドアップイルミネーション実行委員会」(青木相郎委員長、七人で構成)が企画したもので、今年で三回目。公園内中央の滝を中心に、広場の樹木や高さ十五メートルの七重の塔を電飾し、冬の夜を青景に幻想的な世界を演出している。

この陸上競技場の完成を記念して、二十三日、二十四日にアトラクションとして、多様な催し物が行われた。

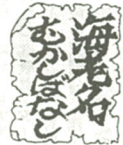
二十三日は、市内の小中学生によるマスケイムやダンス、ドリルバンドの演技や日本サッカーリーグ一部公式試合「東芝対全日空」が行われ、スタンドいっぱいにつめかけた観戦者から大きな拍手が送られていた。

二十四日は「日産サッカースクール」が開かれ、市内小・中学生二百五十人が参加し、サッカーの基礎を学んだ。午後からは、小学生による模範試合が行われた。

海老名むかしむかし

☎33・3838

電話で海老名の昔ばなしが聞けます。
12月4日～12月17日 第103話 音か低くのお婆さん
12月18日～1月6日 第104話 一つ目小僧



第270話 河童シリーズ 外伝 河童の誓約書

前方後円墳のある園分の台地から見下ろすと、広い海老名耕地を横切った大山街道(旧国道26号線)が長い竹竿を置いたように一直線に見えるが、江戸中期までは途中の沼や湿地を避けて曲折が多かった。

池や沼は別名釜ともいうが、耕地の中央にあった大きな沼は古くから大釜(住と呼んだ。この周りは一帯に低地だったので、出水のときは街道もろとも水没して一面に湖水のようになってしまう)が、それでも道路沿いの川柳の並木を目標に徒歩する者がいて、踏み外して溺れたり、時には馬が落ち込んで死んだりすることもある。「大釜の河童が引き込むのだ」と言われていた。



物か蛇に銜えられて引きまわられていくのは、狼に違ひは異様な光景だったに違いない。恐れて近づかなかつたという説も聞かすける。

その頃、河原口の坊中(小字名)に弥平という馬方がいて、ある日の夕方客を鶴間まで送り、夜になって五徳ころがしをしながら帰ってきたが、大塚の立て場はすでに閉まっていたので、気が急いで五徳を引いていることも忘れて大釜近くへ来ると、何に驚ろいて

「河童は字が書けないので手形だけ押します」というので、弥平が文書をしたためて河童に手形を押させ、からみついていて大塚の荷籠を切りほどいて子河童を逃がしてやめた。

その後、河童が頭を並べては通ると、河童が頭を並べていることもあったが、「坊中の弥平だ」といって、「へい、お通りください。気を付けてお帰なさい」と言ったそうである。

このことが評判になり、いつからともなく馬方仲間みんな「坊中の弥平だ」と言っていて通るようになり、後にはこれが河童除けの呪文となり、さらに水難を免れるということになって、口中で「坊中の弥平」と唱えながら水に入る人もいたといわれていた。

これは幼童のころ、因分尼寺(小字名)の小山島吉老人から聞いた話だが、親戚先のこの老人も、子供のとき「坊中の弥平」と書いた紙を守袋に入れておいたそうである。

の五徳ころがし」と呼んだ。引き繩というのは、鞍の両側から後方へ長い荷籠を二本流して引っぱらせることで、近づかないと言われたが、狼にはこの引き繩が蛇のようには見えたのかも知れない。そのため荷籠の端に始めにつける、手首がはいるくらいに輪を蛇口という。五徳ころがしはさらにその効果を上げるための工夫だろう。三本足の得体の知れない怪

たのか馬が急に走り出した。馬を制しながらも走って家に着く、引き繩の先に妙な動物がしがみついていた。よく見ると河童の子供で、引き繩の五徳を取らうとしている。そのまま馬方の家まで引きずられてきましたものだった。

弥平は大釜の河童にはたびたひたひたされたことがあったので、見せしめのため馬相模川の跡だと伝えられている。

(小島 直司)